

「令和元年度キャリア教育指導者養成研修（第2回）」の 開催について

政府関係機関の移転として本県が提案していた独立行政法人教職員支援機構の研修機能の一部移転の一環として、「キャリア教育指導者養成研修（第2回）」が6月の第1回に引き続き本県で開催されますので、ご案内いたします。

1 日 程 令和元年8月26日（月）～8月30日（金）（詳細は別紙のとおり）
（開講式：8月26日（月）9:30～10:00）

2 会 場 パレブラン高志会館

3 主 催 富山県教育委員会、独立行政法人教職員支援機構

4 共 催 文部科学省

5 受講者 96名（31都道府県）
キャリア教育を担当する指導主事等

6 目 的

キャリア教育を担当する指導主事等に対し、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、発達段階に応じたキャリア教育の在り方、校内外の連携を踏まえたキャリア教育推進のための具体的な手立て、キャリア教育の評価・改善方策について、各学校や地域における研修のマネジメントを推進する指導者として必要な知識等を習得させる。

また、本研修で習得した内容を踏まえ、各地域における研修講師等として、①キャリア教育に関する諸課題の改善に専門的知見を活用し、組織的な取組を推進する力、②学校、地域において教職員の専門性向上を推進する力、を發揮し、指導・助言等を行うことのできる指導者の養成を図る。

7 その他

・「キャリア教育指導者養成研修」は、平成28年度から本県で開催されており、今年度で4年目

(参考) 本県における特色ある取組みの事例発表 (8月27日(火)に実施)

学校種別研修において、本県の特色ある取組の事例研究を行うとともに、班別協議にキャリア教育の連携・協力者である企業等が参加

	発表者	富山県の取組み 紹介内容	協議参加者
小学校 部会	氷見市立久目小学 校 教諭 寺崎 孝史	<u>本校の起業体験の取組</u> ・起業家との出会い・講話 ・特産品の栽培活動 ・商品の開発・商品の改善 ・マーケティング調査	
中学校 部会	氷見市立西部中学 校 教諭 小清水育代	<u>起業体験推進事業への取組</u> ・地域の方々に学ぶ ・地元企業家との連携 ・具体的な起業見学 ・社会に学ぶ「14歳の挑戦」 ・生徒自身による起業体験	
高等学 校部会	富山県教育委員会 県立学校課 指導主事 林 貴宏	<u>富山型キャリア教育充実事業</u> ・キャリア教育アドバイザーの配置 ・インターンシップ連絡協議会の設置 ・キャリア教育推進委員会との横の連携 ・社会へ羽ばたく「17歳の挑戦」 ・アカデミック・インターンシップ ・富山の企業魅力体験バスツアー	・富山経済同友会

令和元年度 キャリア教育指導者養成研修（第2回） 日 程 表

第1日目

		9:30	10:30	12:30	13:30	14:45	15:00	17:00	
8/26 (月)	開 講 式	本 研 修 の 進 め 方	講義・演習 「キャリア教育の理解①現状と課題」 文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課 生徒指導調査官 長田 徹	休憩	昼 休 み	講義・演習 「キャリア教育の理解②学習指導要領」 文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官 長田 徹 【事例発表】 みやき町立中原中学校 教諭 石原 紳一郎	休 憩	事例発表・協議 「社会に開かれた教育課程①横の連携を意識したキャリア教育（全体）」 文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課 生徒指導調査官 長田 徹 【事例発表】 岡山県立津山商業高等学校 教頭 二木 信輔 (事前課題持ち寄り意見交換)	
			目的：キャリア教育の背景や必要性を理解し、最新情報に触れる。また、5日間に見通しを持つ。	目的： 新学習指導要領におけるキャリア教育の方向性を確認するとともに、キャリア教育の中核の時間となる「特別活動」及び「キャリア・パスポート」について理解を深める。	目的：キャリア教育における地域連携について考え、課題を整理する。				

第2日目

		8:50	11:00	11:10	12:10	13:10	14:10	14:20	17:00
8/27 (火)	事例発表・協議 「社会に開かれた教育課程②横の連携を意識したキャリア教育（校種別）」	小学校 講師 仙台市立錦ヶ丘小学校 校長 菅原 弘一 事例 水見市立久目小学校 教諭 寺崎 孝史	休 憩	講義 「社会に開かれた教育課程③地域と協働して進めるキャリア教育の必要性」	休 み	講義 「社会に開かれた教育課程④企業との協力体制の構築とキャリア教育の創造」 清川メッキ工業株式会社 専務取締役兼 品質保証部長 清川 卓二	休 憩	事例発表・協議 「児童生徒の発達を促す①縦の連携を意識したキャリア教育」 国立教育政策研究所 主任研究官 立石 慎治 秋田県大館市立第一中学校 校長 小林 一彦 日本大学 教授 望月 由起 【事例発表】 北海道長万部高等学校 教頭 千葉 健史 (事前課題持ち寄り意見交換)	
		中学校 講師 横浜市教育委員会 主任指導主事 熊切 隆 事例 氷見市立西部中学校 教諭 小清水 育代	スクールアドバイス ネットワーク 理事長 生重 幸恵	目的： 学校と地域が協働したキャリア教育の具体について考える。	目的： 効果的にキャリア教育を進めるための企業との連携方を学ぶ。	目的：キャリア教育における校種連携について考え、課題を整理する。			
高等学校 講師 島根大学 准教授 中村 怜詞 事例 富山県教育委員会 指導主事 林 貴宏 指導助言者※	目的：校種別に学校と地域の協働によるキャリア教育の具体を考え、成果と課題を整理する。								

第3日目

8/28 (水)	8:50	9:50	10:50	11:00	12:00	13:00	17:00
	事例発表・協議 「児童生徒の発達を促す①じたキャリア教育」縦の連携を意識したキャリア教育」に同じ		講義 「児童生徒の発達を促す②発達段階に応じたキャリア教育」 東北大学名誉教授 菊池 武剋	休憩	演習 「カリキュラム・マネジメント①キャリア教育推進のためのプログラム開発」 文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課 生徒指導調査官 長田 徹 東大阪市教育委員会 室長 竹中 重雄 (義務) 島根県教育委員会 指導主事 伊藤 淳一 (義務) 高知県立須崎総合高等学校 教諭 戎井 崇 (中等) 沖縄県立宜野座高等学校 教諭 登川 美奈子 (中等)	昼休み	休憩
		目的： キャリア教育の理論と発達段階に応じた指導の必要性和と具体を知る。			◎目的：児童生徒の現状や身につけさせたい資質・能力を踏まえた指導計画作りを通して、キャリア教育推進のためのプログラム開発に必要な知識・方法を得る		

第4日目

8/29 (木)	両コース共通		経営コース				
	8:50	10:20	10:35	14:30	14:45	17:00	
	講義・演習 「児童生徒の発達を促す③キャリア・カウンセリングの基盤としてのコミュニケーションスキルの向上」 追手門学院大学 教授 三川 俊樹		休憩	講義・演習 「学校における教育活動全体を通じて行うキャリア教育の展開方策」 荒川区立第三中学校 校長 清水 隆彦 目的：キャリア教育の視点生かした学校経営の理論と具体的なリーダーシップの在り方について考える。	休憩	講義・演習 「PDCAサイクルを踏まえた指導計画等の評価・改善手法」 筑波大学 教授 藤田 晃之 目的：キャリア教育の視点からPDCAサイクルの理論と具体を知り、カリキュラム・マネジメントのまとめにつなぐ。	
	目的：キャリア・カウンセリングの理論と具体について体得する。						
	推進コース		10:35				
			10:35	17:00			
			演習 「カリキュラム・マネジメント②各教科を中心とした効果的なキャリア教育の進め方」 文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課 生徒指導調査官 長田 徹 筑波大学人間系 教授 藤田 晃之 京都教育大学 教授 初田 幸隆 (義務) 高知県立須崎総合高等学校 教諭 戎井 崇 (義務) 福岡県立城南高等学校 校長 和田 美千代 (中等) 宮城県利府高等学校 教諭 長谷川 弘和 (中等)	休憩	休憩	休憩	

第 5 日目

8/30 (金)	経営コース		両コース共通	
	8:50	12:15	13:15	15:15 15:30
	休憩			
	演習 「カリキュラム・マネジメント③PDCAサイクルを踏まえた指導計画等の評価・改善手法」 文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課 生徒指導調査官 長田 徹 筑波大学人間系 教授 藤田 晃之 宮城県利府高等学校 教諭 長谷川 弘和 (中等)	昼 休 み	講義・質疑応答 「本研修の振り返り」 「研修講師を務めるに当たって」 文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課 生徒指導調査官 長田 徹 筑波大学人間系 教授 藤田 晃之 福岡教育大学 教授 西山 久子 宮城県利府高等学校 教諭 長谷川 弘和	閉 講 式
	推進コース			
	8:50			
	休憩			
	課題協議 「個別的な支援・指導の在り方」 福岡教育大学 教授 西山 久子 目的：キャリア教育における個別支援の必要性を知り、その 具体について体得する。		目的：本研修を振り返り、研修内容等について整理するとともに、研修成果を活用して各地域で研修講師を務めるための研修計画を作成し、情報交換を行う。	